

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 6月 21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473100562		
法人名	医療法人社団林医院		
事業所名	グループホーム蛍の家		
所在地	広島県呉市倉橋町石持154番地1号 (電話) 0823-50-2122		
自己評価作成日	平成30年5月16日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3473100562-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年6月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

海が見え、地元の方が多く家庭的で落ち着いた雰囲気を大切にし、地域の行事に参加したり、季節ごとの行事を行い季節感を感じていただいております。また、定期的に地域の小学校との交流を行っております。庭も広く散歩や、運動、レクリエーションに活用し、畑で野菜作りをしたり、天気・気候の良い日には庭での昼食会を開催しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

倉橋島ののどかな風景に溶け込んだ建物で、海を見ながらゆったりしたフロアでは、利用者が食事をしたりカラオケを楽しむ憩いの場所です。庭も広く、利用者が外に出たい時は職員が付き添って散歩や畑仕事等することが出来、隣接の小規模多機能施設にも、自由に出かけることができるようにしています。職員は利用者が極力自由に行動できるように支援しており、個人の尊厳を遵守したケアの実践があります。職員の提案で去年より遠出の外出を増やすことができおり、毎年恒例の音戸のつつじ見物には、マイクロバスを借り家族も参加して楽しい時間を過ごされました。地元で開催されるトライアスロン大会には、利用者と職員が手作りの旗を作り応援をしたり、花火大会や海水浴場の清掃活動に参加する等、地域との繋がりを大切にされています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念・事業所理念を朝礼時に唱和し、職員への徹底を行っている。又、利用者への接し方で不適切と思われる対応等があった場合、職員間で適宜指導・改善を行っている。	毎日9時と16時に理念の唱和と申し送りをして、情報共有に努めています。利用者にしていただくことを念頭に支援を行い、理念であるノーマライゼーションを大切に普通の生活を大切に送り、言葉による抑制をしないで傾聴する思いやりの介護に力を入れています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域行事へ参加し、積極的に交流するよう努めている。今年度は、文化祭への出展等初めての取り組みを行った。又、清掃活動に参加する等し、近隣の方との交流を行っている。	3か月に1回小学校の子供たちが訪問し、歌やプレゼントを持ってきてくれるのを楽しみにされています。海水浴場の清掃には、利用者と職員と一緒に参加されています。毎年島の恒例行事にトライアスロンがありますが、利用者は旗を作りホームの前で応援をします。文化祭の出展も貼り絵や生け花などの手作業の作品を展示し町のイベントに参加することで地域交流をされています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事へ参加する場合、事前に担当者で打ち合わせを行い、駐車場や、座席の確保等ご協力いただき、認知症の方が参加する事の理解を頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	地域の方や、ご家族、利用者に対し、実施した行事報告や、話し合いを行い、意見交換し、サービスの向上に努めている。	2か月に1度、運営推進会議を開催しています。地域柄高齢化が進み参加人数が減ってきてはいますが出来るだけ多くの方が参加しやすいように第3火曜日に開催するなど工夫をしており、家族以外にも民生委員や消防署員、時に小学校校長も参加があります。運営推進会議では地域の行事や防災等情報交換も盛んに行なわれ、今回有料の認知症カフェが検討されていることを知り、協力したいことを伝えていきます。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	呉市の担当者の方や、介護相談員と話し合い、助言をいただき、改善に取り組み、より良いサービスの向上に努めている。	呉市の紹介で、人権の研修会をホームで行ったことがあります。地域包括から紹介いただいた利用者は、訪問してもらい、安心して生活が出来るように助言をいただいています。運営推進会議のお便りや行事の案内を送り、周知や繋がりづくりに努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職場内で研修する事で、身体拘束による弊害を理解している。又、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為について、事務所に掲示している。玄関の施錠も日中は行っておらず、併設の小規模多機能でのレクリエーションに自由に参加したり、散歩を楽しんで頂いている。</p>	<p>研修を職場内で年2回、外部で年1回参加し、拘束について職員が正しく周知できるように努めています。施設がワンフロアである利点を活かして、見守りを強化する対応にて身体拘束をしない支援が実践され、大声を出す利用者も職員とのコミュニケーションが取れているため、傾聴することで落ち着かれスピーチロックも必要がありません。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職場内で研修を行い、虐待防止に細心の注意を払っており、利用者の表情・身体状況を常に確認するよう努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職場内で研修を行い、権利擁護に関する制度の理解に努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約に当たっては、利用者・ご家族に対し十分な説明を行い、疑問・不安の無いように対応している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時に、ご家族へ要望・意見・苦情等を伺うようにしている。又、遠方で面会の頻度の少ないご家族様へは、定期的に連絡し、要望を伺っている。</p>	<p>家族の面会時に職員が声をかけてご意見、ご意向を伺うように心がけています。月1回のお便りの他、体調変化時にはこまめに家族に連絡を入れて、様子をお知らせしています。家族旅行に行く家族様には、利用者の今のご様子や排泄状況、介助の方法等を書面にして、お渡しして喜ばれたこともありました。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は、日々職員からの意見や提案を聞くようにしている。又、管理者は、毎週月曜日のミーティングにて、代表者に意見や報告を行っている。	週1回管理者は本部に行き、理事の話を聞いたり報告を行い、職員の意見や提案を伝えています。管理者は職員が利用者への接し方や対応の仕方について、その都度様子を見て話を聞いています。外出を増やしたいという職員からの提案で、マイクロバスで家族参加の外出が実現し喜んでいただいた事例もあります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	勤続年数や、意欲に応じて、資格取得や研修に向けての支援を行い向上心を持って勤務にあたってもらうように努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	外部研修に参加し、研修で学んだ事の報告会を開催している。又、職員の資格取得に向けた支援も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	管理者や職員は、外部研修に参加して質の向上を目指し、意見交換や、情報収集を行いケアに活かしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	サービス開始までに、今までの生活歴・経緯などを傾聴し、信頼関係が築けるようにしている。又、要望等も連絡ノートに記載し、職員全員で把握し、情報共有した上で支援するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>本人・ご家族の思いや要望を聞く時間を十分に設け、状況を確認した上で、出来る限りの対応を行っている。又、早急な対応を求めている相談者には、柔軟な対応を心掛けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>併設している小規模多機能のサービスの説明や、その他のサービスについても説明を行うように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>コミュニケーションを大切にし、利用者の気持ちを理解するように努めることで、家庭生活に近い生活環境の場を築くことができるよう努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族の面会時には、近況を報告したり、ご家族とゆっくり過ごしていただけるように配慮している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>自宅付近のスーパーへ買い物に行き、地元の人と関わりがもてるよう支援している。又、地域行事へ参加することで、知人との出会い・会話を楽しめるよう支援している。</p>	<p>利用者は家族と出かけることも多く、行きつけの場所に出かけています。ホームでは、週1回利用者と車でドライブを兼ねて買い物に出かけ、地元の人と買い物や会話を楽しまれています。地域の方がケーキやおはぎ等を一緒に作りにきてくれることもあり、地域との繋がりができています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	仲の良い利用者同士の席を近くしたり、お互いの居室を訪問し合う等、関わりがもてるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	終了後も、利用者様・ご家族とのコミュニケーションを大切にし、相談・支援に努めている。入院された場合は、お見舞い、電話による連絡を行っている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意見や資料を検討しながら、本人に合ったライフスタイルを検討している。日々の行動や表情から、思いや意志を理解できるよう心掛けている。	利用者の担当制は設けていませんが、気の合う職員がなるべく対応し、利用者の話を聞きやすいようにして意向の把握に努めています。体の動きが悪い利用者が畑仕事がしたいとの思いに、プランターにお水をあげるという支援をしたことがあります。日頃から職員は、本人の意見や生活歴を参考にコミュニケーションに努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活歴を十分に理解し、出来るだけ今までとあまり変わらない生活ができるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	生活リズムや、ペースを尊重し、体調に考慮しながら、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>担当者会議にて、利用者・家族の要望を聞き取り、介護計画を作成している。</p>	<p>月に一度モニタリングを行い、介護計画は半年に一度見直しを行っています。家族には来訪時にご意見、ご意向を伺い遠方の方にはお便りや電話で連絡をしています。利用者には広島弁で話しかけることで、思いを聞きだす工夫をされています。散歩が嫌いな利用者には、カラオケを提案させていただく等、意向に沿った介護計画を作成されています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>申し送りで、利用者の様子や状態の変化・気づき等を報告している。定期的にミーティングを行い、情報共有し、状態に変化があれば、都度、介護計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人や、ご家族の要望に応じた介護計画を作り、柔軟な対応をしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>利用者が安心して地域で暮らし続けられるように、運営推進会議等で意見を聞き支援している。また、地元の小学校と交流するなど、地域との交流を楽しんでいただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>母体法人の医療機関からの往診・訪問看護との連携により、適切な医療が受けられるよう支援している。又、かかりつけ医への定期受診は、ご家族に通院介助をお願いしているが、無理な場合は、施設職員による通院介助を行っている。</p>	<p>母体法人の医療機関は24時間対応です。1週間に2回往診があり必要に応じて訪問看護の対応もあります。状態によっては、医師が家族に直接電話で説明したり、職員が様子を報告しています。かかりつけ医の受診には家族が付き添われますが、難しい場合は職員が通院介助を行ったり、介護タクシーの手配などの支援を行っています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者の体調の変化や、介護職員が不安な事などは、訪問看護師に相談している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した場合、本人の支援の方法に関する情報をご家族、病院関係者に提供している。また、面会時には医療関係者と話し合い、退院時の計画を本人・ご家族・職員で話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時に看取りの指針を説明している。また、実際に看取りが必要な状態になった場合、再度ご家族に説明し、書面による同意を得て、訪問看護ステーションと連携し、24時間体制で経過観察ができるようにしている。</p>	<p>契約時、すでに看取り時は母体の医療機関を希望する家族が多くホームで看取りは少ないのですが、自然体で住み慣れた場所で最期までと希望される家族もあり、今年もホームで看取りをされました。家族に説明をし同意書をいただき、医師、訪問看護、職員と医療連携をしながら終末期のあり方について話し合い、看取りをされました。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>職員全員が対応できるように定期的に学ぶ機会を設け、緊急時に活かせる技術を身につけるように、マニュアルを基に取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回 防災訓練・避難訓練を行い、連絡体制、避難路や避難の手順などの確認を行っている。又、運営推進会議などを通して、協力を呼びかけている。防火の表彰をされた。</p>	<p>年に2回併設している小規模多機能施設と合同で防災訓練を行っており、呉市から防火の表彰を受けています。災害に備え、3か月分の備蓄も保管しています。災害時の避難場所を1か所に設定していましたが、運営推進会議の中で土砂災害や水害等、災害によっては避難場所を変更したほうが良いとの意見もあり、災害対策マニュアルの避難場所の追加を検討中です。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人格を尊重し、プライバシーが確保できるような職員による声かけ、接し方になるよう、日常業務の中で指導を行っている。	職員はプライバシーに配慮した声掛けをし、さり気なくトイレ誘導を行っています。職員同士の会話では、利用者の名前ではなく、居室の番号を使用する等工夫があり、個人情報の保護に努めています。利用者のファイルは鍵のかかるロッカーで保管しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	コミュニケーションを大事にすることで、自己決定の支援へとつなげている。意思決定が困難な場合でも、表情や反応から思いを理解し、希望や願いを意図的に引き出せるように、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の思いに沿った生活ができるように、一人ひとりに話を聞きながら支援するようにしている。利用者の生活リズムを尊重し、ゆったりとした環境で、本人の意向や要望を聞きながら、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者の希望や好みを尊重し、季節感や清潔感のある、その人らしいおしゃれをして頂けるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	定期的に利用者に希望を聞き、季節感のある行事食作りを一緒に行っている。職員と一緒に会話を楽しみながら食事を楽しんで頂き、後片付けもできる範囲でお手伝いして頂いている。	体が自由に動ける利用者が男性のみということもあり、テーブル拭きや食器の片付けのお手伝いをお願いします。食材は本部から届いたものを職員が調理していますが、利用者が畑で作った野菜と一緒に収穫して食卓を彩り食事が進みます。島育ちの利用者が多く、刺身が食べたいという希望で地元で生きの良い魚を仕入れ、握り寿司にして喜ばれたこともありました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>日々一緒に食事をする中で、利用者の嗜好や、嚥下状態の確認ができています。食事摂取量や、水分量は記録し、不足している場合は、栄養補助食品を提供している。目標水分量の徹底を利用者と図っている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、本人の状態に合った口腔ケアを行っている。自分で口腔ケアを行っている利用者に対しても、定期的に職員が確認をし、口腔内の清潔を保持している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表を使用し、排泄パターンの把握をし、羞恥心や自尊心に配慮しながらトイレ誘導を行っている。身体状態に合わせた個別支援を行い、失敗の減少に努めている。</p>	<p>排泄表の活用と利用者のしぐさや排泄パターンを把握し、声掛けとトイレ誘導を行っています。こまめなトイレ誘導でオムツだった利用者がリハビリパンツになったり、ポータブルトイレの利用者も排便はトイレに行くなど改善されています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の確認、適度な運動、水分補給必要な場合は内服薬を服用していただいている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>予定を基本に、本人の体調や希望を考慮した支援を行っている。入浴時間も余裕をもっており、ゆっくりと自分のペースで入浴して頂いている。</p>	<p>入浴は週2回が基本ですが、希望で週4～5回入っておられる利用者もいます。浴室には可動式の手摺があり、浴槽の出入りが容易になっています。入浴嫌いな利用者には、工夫してお誘いをし拒否なく入浴して頂いたり、本人様の好きなシャンプーやボディソープ等を使い入浴を楽しめる支援ができています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>一人ひとりの体調を考慮し、ゆったりと休憩や睡眠をとれるように支援している。常に清潔を心がけ、安らぐことができる居室にしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>看護師より、処方されている薬の説明を受けている。本人手渡しを徹底し、飲み忘れのないよう確認を行っている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>充実した一日が過ごせるように、レクリエーション等を行っている。一人ひとりの能力に応じて、できる事を行ってもらえるよう支援している。散歩、体操、カラオケの機材の利用も利用者様からの提案もある</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日頃から、入居者の希望を把握し、買い物や散歩などの外出を心がけている。又、併設する小規模多機能でのレクリエーションに参加するなど、自由に過ごしていただいている。</p>	<p>広い敷地内に畑があり、利用者は好きな時に畑仕事をしたり、併設されている小規模多機能の施設に自由に出かけられるように支援されています。3か月に1度遠くへ外出を行い、週に1度はドライブを兼ねて買い物に出かけています。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご家族と話し合い、本人が小遣いを持つようにし、定期的買い物に出かけ、欲しい物を自分で購入していただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>プライバシーに配慮、希望に応じて、電話や手紙を出せるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ダイルーム等の共用スペースでは、利用者が気持ち良く過ごせるように、清潔に努めている。また、季節感のある掲示物や花等を飾り、居心地の良い空間になるよう努めている。</p>	<p>ワンフロアの共有スペースでは、大きな窓から海を眺めながらゆったりと食事ができます。椅子やテーブルは重厚感があり、落ち着いた雰囲気です。さり気なく季節の花が飾られている、利用者が集まる静かな居心地の良い空間です。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>日当たりのよいダイルームで、日向ぼっこをしたり、TVを見たり、海を眺めたりと自由に過ごしていただいている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人、ご家族と話し合っ、自宅で使用していた物を自由に持ち込めるようにしている。利用者が大切にしていた物に囲まれた、居心地の良い居室作りを行っている。</p>	<p>入居時に新しい生活環境がストレスにならないように、使い慣れた家具や小物を本人、家族と相談して持ち込まれ、安心して生活が送れるように支援しています。居室のドア窓が上の方についており、夜間鍵をかけている利用者の入眠を妨げることなく見守りができています。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>個々の身体状況や能力に合わせ、家族、本人と相談しながら家具の配置等を検討している。本人の能力を生かしつつ安全に配慮した環境作りを行い、状態が変化した場合は、その都度話し合いを行い整備している。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム蛍の家

作成日 平成30年7月31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	ご家族、ご本人のその時々のご希望に柔軟に対応	突然と思われる、希望に際し柔軟に対応したい。	常々、ご家族と交流連絡を取る、ご本人ともご要望確認し、傾向を把握できるようにする。	H31年7月
2	35	災害対策	水害、がけ崩れ対策避難訓練。	火災避難訓練だけでなく、避難指定施設へ避難する訓練を実施する。	H31年7月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。